



車椅子座位時にポジショニングしてもすぐに体勢が崩れる

◆確認すること

- ①関節や脊柱の変形、麻痺の有無
- ②車椅子がその方に合っているか
- ③支持面積を広くとり安定しているか
- ④プッシュアップのタイミング
- ⑤訴え（痛み、きつい、排泄など）



車椅子座位時にポジショニングしてもすぐに体勢が崩れる

- ① 関節や脊柱の変形、麻痺の有無
- ③ 支持面積を広くとり安定しているか

● 対策

- ・ 椅子上で支持面積が最大になるようにクッション、バックサポートを使用する
- ・ せばりの調整



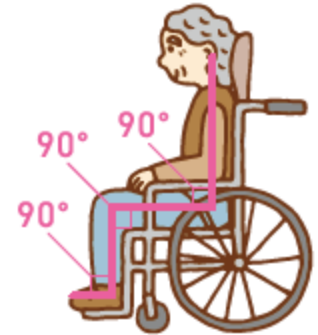
車椅子座位時にポジショニングしてもすぐに体勢が崩れる

②車椅子がその方に合っているか

●対策

- ・90度姿勢がとれるか
- ・足底が地面に接地しないときは足台を使う
- ・フットレスト、アームレストの高さの調整
- ・せばりの調整

【図1】90°ルールの姿勢





車椅子座位時にポジショニングしてもすぐに体勢が崩れる

④プッシュアップのタイミング

圧迫による
疼痛で苦痛？

●対策

15～30分ごとのプッシュアップ



車椅子座位時にポジショニングしてもすぐに体勢が崩れる

⑤何かを伝えたい！

痛み、きつい、排泄など・・・



●対策

表情や声から予測される事に

対してケアを行う



車椅子座位時にポジショニングしてもすぐに体勢が崩れる

◆確認すること

ベッド上で寝ている位置
頭元によりすぎてないか

●対策

スライディングシートで摩擦低減
大きいビニール袋でも代用可能



坐骨結節に
合わせる



車椅子座位時にポジショニングしてもすぐに体勢が崩れる

◆確認すること

- ①体型や骨突出の状況
- ②2時間後にマットと接する皮膚の発赤の状況

●対策

発赤なし→30分ずつ延長

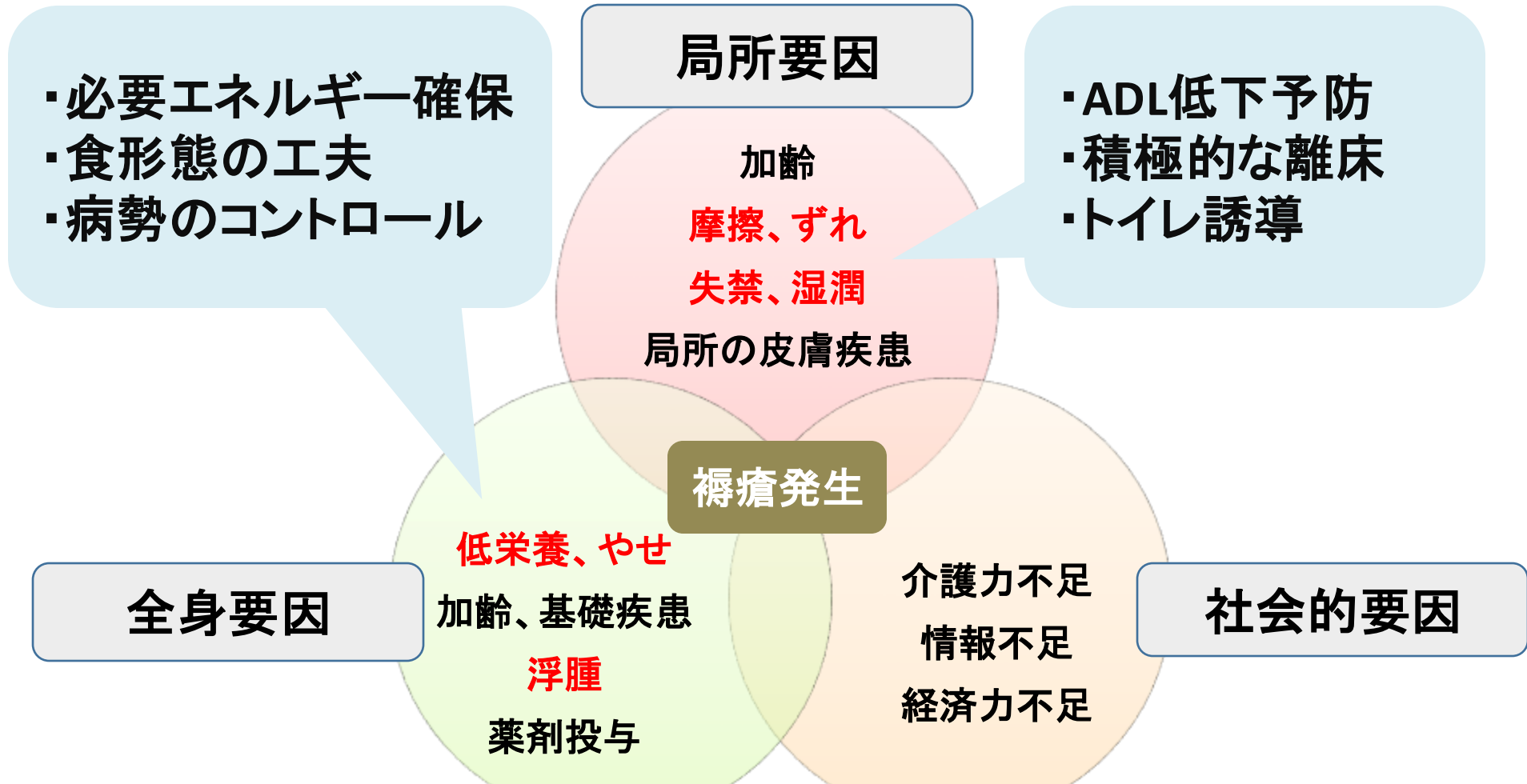
発赤あり→ポジショニングの評価、間隔を30分短縮

体型やポジショニングにより左右されるので、
●時間といった決まりはありません





褥瘡を予防するための体づくり



フレイル予防が大事

臀部の皮膚浸軟、肥厚についてのケア

ワセリンやアズノールを塗っているのですが…



◆確認すること

①失禁による皮膚湿潤か、他の要因か

●失禁対策：

- ・トイレ誘導しドライタイム確保
- ・排泄量に見合った吸収量のオムツを使用
おむつを何重にも重ねていないか

臀部の皮膚浸軟、肥厚についてのケア

浸軟：皮膚表層の角質層の水分量が過剰になっている

●失禁対策：皮膚の保護

- 撥水性皮膚保護剤を使用する
- 2個分の量を手掌2枚分の面積を塗布する

浸軟した皮膚にワセリンを塗布すると
さらに浸軟します



臀部の皮膚浸軟、肥厚についてのケア

もしかして…**苔癬化**している??

苔癬化:角質が肥厚している状態
(たいせんか)



- 苔癬化した皮膚への保護対策
アズノール軟膏を塗布する
皮膚科にご相談ください

